

各位

2016年8月10日
アプリアックスIPホールディングス株式会社
(コード番号:3727 東証マザーズ)

アプリアックスIPホールディングス 平成28年12月期第2四半期決算を発表

～ IoTソリューション事業は着実に進展、出版事業も黒字に～

アプリアックスIPホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山龍、以下「アプリアックス」)は、平成28年12月期第2四半期連結業績を開示し、今後の成長戦略の要であるIoTソリューション事業については、受注残高が大幅に増加するなど着実に進展していること、また出版事業については、事業単体の営業利益が黒字化したことを発表いたしました。

IoTソリューション事業については、当社主要IoT案件の売上端境期にあたり、売上高の伸長は緩やかであるものの、受注残高105百万円(前年度1.8百万円)と大幅に積みあがっており、平成28年12月期下期以降に順次売上を計上する見込みです。コストについては、人件費の圧縮などにより営業費用は543百万円(前年同期比37.1%)と順調にコスト削減が進んでいます。

出版事業については、当社連結子会社であるフレックスコミックス株式会社においてコミック売上が堅調に推移、ならびに、当社連結子会社である株式会社ほるぷ出版の児童書が青少年読書感想文全国コンクールの課題図書に選定され発行部数を伸ばしたものの、収益性向上のために新刊出版点数の見直しを行った等の理由により売上高は541百万円(前年同期比12.9%)となりました。しかしながら、新刊出版点数の見直し等のコスト削減施策が奏功し、営業利益は事業単体で44百万円と黒字を達成しました。

平成28年12月期通期業績については、平成28年12月期通期売上高予想を2,306百万円から1,650百万円に見直し、営業損益も696百万円から998百万円に引き下げました。しかしながら、IoTソリューション事業は引き続き引き合いも堅調であり、今後も拡大の見通しであること、出版事業も黒字化達成の見通しであることから、今後もこうした着実な取り組みの積み重ねによって、収益性の向上、ひいては連結営業損益の黒字転換をはかってまいります。

本日発表の「平成28年12月期第2四半期決算短信(連結)」は[こちら](#)をご覧ください。

以上

アプリアックスIPホールディングス株式会社について

アプリアックスIPホールディングスグループは、ソフトウェアテクノロジーによって世界中の人々がより充実した生活を楽しめるようにすることを使命として事業を営んでおります。テクノロジー事業において、当社が開発・提供するBeaconには「Location Beacon」と「Notification Beacon」があります。「Location Beacon」として提供している「MyBeacon®シリーズ」は、常時電波を発信し続けるタイプで位置情報の一つとして、飲食業界、アパレル・ファッション業界、流通業界、不動産業界、レジャー・エンタメ業界、物流・運送業界、観光業界などの多種多様な業界をはじめ、公共事業や自治体などにおいて普及し始めています。「Notification Beacon」の一つである「お知らせビーコン」は、機器に組み込むことで、ある状態を検知した時だけ電波を発信するタイプで、浄水器、加湿器、扇風機、コーヒーメーカーなどの軽家電を始めとするあらゆる機器とBeaconを組み合わせることができます。また、出版事業においては、シリーズ単行本累計320万部を超える「ブレイクブレイド」をはじめとする多くのヒット作品を生み出し続けております。同事業において児童書や絵本を提供するほるぷ出版は50周年を迎え、「ミルクこぼしちゃだめよ!」などの人気図書を出版しております。

アプリアックスIPホールディングスのwebsite(投資家情報等):<http://www.aplix-ip.com/>

アプリアックスのwebsite(テクノロジー事業等):<http://www.aplix.co.jp/>

お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<http://www.aplix-ip.com/contact/>

記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。